

「GOTO イートのポイント付与の延期は考えていますか？」

令和2年11月18日

●シクラメンさんからの質問

西田先生こんばんは、本日のフジテレビ日曜報道において大阪の吉村知事は、「GOTO eat の規制を設けるべき。」だと主張されました。福岡県も20人前後、大阪、東京、北海道は、200人台から300人台に達する日も有ります。GOTOキャンペーンは、経済の大動脈だと私は、考えています。今後感染拡大する場合の対応は、どうなっているのでしょうか？またGOTOイートのポイント付与の延期は、考えていますか？西田先生の見解を伺います。

●西田昌司の答え

最近、コロナの感染者数が増えてきていますし、ゆえに第三波が到来したと言う人もいますが、増えているとはいえ重症者の数は大したことはありませんし、（重症病床のキャパが25%を超えているところが東京等でいくつか出てきていますが）病床の受け入れ数にもまだまだ余裕があります。

一年近くに亘るコロナ騒動でわかってきましたが、コロナは（我々日本人にとっては）どうも大したリスクではなさそうです。高齢者や基礎疾患を持った方にとってはリスクは高くとも、それ以外の方がたとえ感染したとしても風邪の症状程度で済んでしまいます。一年近くもコロナで騒ぎ続けてきましたが、過剰に恐れている面があると私は思います。

コロナのワクチンが完成しそうといった報道もありますし、そのワクチンを皆が接種することでコロナ騒動が落ち着くのであれば、接種するに越したことはありませんが、ワクチンを接種するにもリスクがあります。コロナのワクチンのように短期間で作ったものは十分な治験ができないこともあっ

て、どのような副作用があるかという懸念が残ります。子宮頸がんワクチンを接種したのために（若い女性に）健康被害が生じて裁判にもなっている例がありますし、ワクチンを打てば全てが解決するといった単純な話ではありません。

コロナに関しては高いリスクのある人は限られていますし、コロナに感染しても風邪の症状程度で済む人が多いとなると、（深刻なリスクの可能性のある）ワクチンを無理に接種しない方が良いとの考え方もあります。もしも全ての国民に強制的にコロナのワクチンを接種させて障害を抱える人が現れでもしたら大変ですから、ワクチンを強制的に接種させるべきかどうかについては冷静に判断しなければなりません。

Go To イートや Go To トラベルのキャンペーンによって経済は活性化されましたが、一方、人と人との接触機会が増えたことで感染者数が増えてしまった側面も確かにあるでしょう。しかし、重症者数が大して増えたわけではなく、医療崩壊からも程遠い状況とあれば、経済を抑えてまでコロナの蔓延を防ぐ必要もなからうと思われれます。コロナでは死ななくとも、コロナ禍による不況が原因の経済的な理由によって自殺に追い込まれてしまう人が急増してしまったら、何のための自粛なのかわからなくなってしまいます。

私は毎朝、靖国神社に行きますが、その時に私はマスクをしていません。すれ違う人もほとんどおらず、誰とも話しませんし、ましてや屋外となると飛沫感染の可能性はゼロなので、マスクをする必要は全くありません。しかし、道行く人々を見ているとほとんどの方がマスクをしています。その中には、これから電車等の公共交通期間に乗るからマスクをしている人も多いでしょうが、する必要もないのにしている人も少なくないでしょう。あの光景を見ていると「感染予防の過剰な要求を人々に強いているのではないか。ゆえに経済が復活せずにコロナよりも経済苦によって国民を苦しめているのではないか」と思わざるを得ません。

コロナ感染のリスクを抑えることは可能ですが、ゼロにすることはできま

せんし、コロナのみならずどのようなリスクについてもゼロにはできません。コロナの場合、話をする時にはマスクをすれば飛沫感染のリスクは抑えられますし、密閉空間にならないよう換気をすれば空気感染のリスクも抑えられますし、いろいろなことに注意をすればコロナのリスクは問題のない範囲内に抑えることが可能ですが、そもそもゼロにすることはできません。

コロナ感染を問題のない範囲内に抑えながら経済の落ち込みを防ぐことは可能ですし、何よりも「正しく恐れる」ことが大事です。コロナを指定感染症としてしまったがために過剰な自粛がされていますが、指定感染症から外して通常の風邪と同様の扱いをした方が、国民にとっても幸せであると思います。

コロナ感染をどれだけ防いだところで、人間は最後は死んで終わりなのです。いたずらにコロナを恐れることなく、今の時代を生き生きと過ごしたいものです。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>